

みずほCustomer Desk Report 2019/08/09号(As of 2019/08/08)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	106.11 AUD/USD
TKY 9:00AM	106.12	1.1204	118.91	1.2145	0.6758
SYD-NY High	106.32	1.1233	119.16	1.2183	0.6822
SYD-NY Low	105.90	1.1177	118.50	1.2095	0.6747
NY 5:00 PM	106.07	1.1180	118.57	1.2138	0.6805
NY DOW	26,378.19	371.12	日本2年債	-0.2400	0.00bp
NASDAQ	8,039.16	176.33	日本10年債	-0.1900	1.00bp
S&P	2,938.09	54.11	米国2年債	1.6158	1.59bp
日経平均	20,593.35	76.79	米国5年債	1.5429	0.16bp
TOPIX	1,498.66	▲ 1.27	米国10年債	1.7181	▲ 0.18bp
シカゴ日経先物	20,780	170	独10年債	-0.5595	2.45bp
ロンドンFT	7,285.90	87.20	英10年債	0.5205	3.30bp
DAX	11,845.41	195.26	豪10年債	0.9620	1.10bp
ハンセン指数	26,120.77	123.74	USDJPY 1M Vol	7.46	▲ 0.47%
上海総合	2,794.55	25.87	USDJPY 3M Vol	7.61	▲ 0.30%
NY金	1,509.50	▲ 10.10	USDJPY 6M Vol	7.48	▲ 0.20%
WTI	52.54	1.45	USDJPY 1M 25RR	-1.78	Yen Call Over
CRB指数	170.32	2.43	EURJPY 3M Vol	7.83	▲ 0.04%
ドルインデックス	97.55	0.00	EURJPY 6M Vol	7.69	▲ 0.08%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月8日	12:00	中	貿易収支	7月 \$45.06b \$42.65b
	12:00	中	輸出/輸入(前年比)	7月 3.3%/-5.6% -1%/-9%
	21:30	米	新規失業保険申請件数	3-Aug 209k 215k
	23:00	米	卸売在庫(前月比)・確報	6月 0.0% 0.2%

【本日の予定】

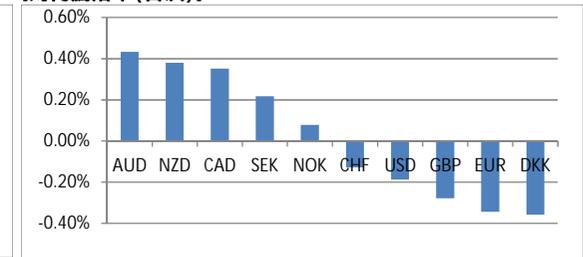
Date	Time	Event	予想	前回
8月9日	08:30	豪	ロウ豪中銀総裁 講演	-
	08:50	日	GDP(前期比/前年比)・速報	2Q 0.1%/0.5% 0.6%/2.2%
	08:50	日	GDPデフレーター(前年比)・速報	2Q 0.3% 0.1%
	10:30	中	CPI/PPI(前年比)	7月 2.7%/-0.1% 2.7%/0%
	15:45	仏	鉱工業生産(前月比/前年比)	6月 -1.2%/1% 2.1%/4%
	17:30	英	GDP(前期比/前年比)・速報	2Q 0%/1.4% 0.5%/1.8%
	17:30	英	個人消費(前期比)・速報	2Q 0.3% 0.6%
	17:30	英	鉱工業生産(前月比/前年比)	6月 -0.2%/-0.3% 1.4%/0.9%
	21:30	米	PPI(前月比/前年比)	7月 0.2%/1.7% 0.1%/1.7%

東京	東京時間は106.12レベルでオープン。本日のウォリア人民元の基準値は予想よりやや元高の水準となったことで、106.32まで上昇。アジア株が堅調に推移するなか、その後のドル円の動きは限られ、106円前半で推移し106.15レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、106.15レベルでオープン。人民元対ドル基準値が市場予想より元高に設定され当局の元安抑制の姿勢と受け止められており午前のUSD/JPYは小幅に推移。午後には、米失業保険申請件数の公表を控える中、105.99レベルでNYに渡った。本ドルは、1.2151でオープン。GBP/USDは特段の目新しい材料が見当たらない中、引き続き上値は重く推移。ジョンソン閣内閣不信任案可決ならEU離脱直後での総選挙となる可能性が報じられるも影響は限定的。1.2143でNYに渡った。(ロンドン17:30 00531 444 179 川田)
ニューヨーク	早朝に米金利の低下する動きをから105.91まで下落し、105.99レベルでNYオープン。朝方は米金利上昇やダウ先物の上昇を背景にドル買いが進み、106.21をつける。その後、トランプ米大統領の「FRBの金融政策によるドル高について、私は嬉しく思っていない」との発言にドル売りに反応し、105.99まで下落。午後には米10年債利回りが1.78%台まで上昇すると高値106.24をつけるが、米金利が下げに転じると105.90まで反落。終盤にかけては米株が上げ幅を拡大する動きにサポートされ、結局、106.07レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは、1.1228まで上昇する場面もあったが、新規のユーロ買い材料が乏しい中、早朝にかけて1.1186まで反落し、1.1188でNYオープン。朝方はドイツが均衡予算を断念し、新たに政府債発行を検討、との報道が伝わると、ドイツ政府が財政刺激策を講じるとの思惑にユーロが買いが強まり、1.1225まで上昇。しかし、当局はその後同報道を否定しており、買いは続かず、1.1200近辺まで反落。その後、トランプ大統領の発言を受けて、一時1.1233まで上昇するが、滞空時間は短く、往って来いの展開となる。午後にはサルベニ副首相が「伊政府はもはや過半数ではなく、総選挙が必要になると発言したことが伝わると、イタリ政局不安への懸念が強まり、安値1.1177までユーロ売りが先行し、結局1.1180でクローズ。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.10-106.60	1.1150-1.1250	117.75-119.25

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円は106円を挟んで方向感の乏しい展開。7日には105円台半ばまで下落したものの、その後はマーケットがやや安定を取り戻したことで106円中心としたレンジでの動きとなっている。特に昨日は中国の貿易指標の改善を背景としたリスクアセットへの資金流入などを受けてドル円は底堅い値動きとなった。足許地合はやや改善しているように見受けられるものの、米国の追加利下げ観測が燃る中、基本的には引き続き下値リスクを留意する展開が継続するものと思われる。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:小笠原・原田